

## 模擬人工衛星、天高く

ペットボトル  
ロケット発射 中日本航専で実習

関市迫間の中日本航空専門学校で17日、ペットボトルで作ったロケットで模擬人工衛星を打ち上げる実習。宇宙工学実習の一環。3、



ペットボトルで作ったロケットで模擬人工衛星を打ち上げる  
学生ら＝関市迫間、中日本航空専門学校

4人ずつの班をつくり、半年かけて試行錯誤を重ねながらロケットや模擬人工衛星の制作に取り組んでいた。三菱重工業出身で、宇宙ステーション補給機「こうのとり」の開発や種子島宇宙センターでロケット打ち上げ作業に携わった経験がある三木陽一郎教授が指導した。

ロケットは、圧縮空気が水を噴射する力で打ち上げる。先端には高度計や加速度計などの基盤や小型カメラを取り付けた模擬人工衛星が搭載され、高さ50メートルで分離し、パラシュートで降下させる仕組み。四つの班が挑戦し、三つの班が見事打ち上げに成功すると、歓声が上がった。

藤田樹さん(18)は「パラシュートが収納できる厚さにし、しっかり開くような折り方を工夫した。成功してすごくうれしい」と話した。  
(根尾文悟)